

# 扶桑菅廟最初 防府天滿宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名  
酒垂山からとつたものです

# 佐加太利

令和7年  
秋冬号  
116号



目次

点描／大小行司夜々詣

夜々詣：御神幸大祭（裸坊祭）八日前より大小行司が隔日で夜詣りし大祭の無事齋行を祈る。初日は大行司以下お供の行列を鳥居前にてお祓いし、神職の先導により参進する。（社務所だより参照）

1 巻頭言

2 崇敬会だより

3 こころのふるごと

4 防府天満宮  
（金谷神社（金谷天満宮）の秋季大祭調査を通して）

5 寄稿

6 金銅宝塔が物語るもの

7 御神忌

8 千百二十五年式年大祭  
記念事業進捗状況

TOPICS

9 結婚おめでとう  
ひたぶる

10 社務所だより  
天神様の夏から秋へ日誌抄

11 予祝詣・初詣

12 これから祭事行事案内



第六卷 9m20cm

第五卷 13m31cm

第四卷 12m12cm

第三卷 13m80cm

第二卷 14m30cm

第一卷 13m10cm



# 雜感

宮司 鈴木宏明

近頃、テレビや新聞のニュースに分断とか差別といった物事の二極化を表す「ワード」がよく登場します。要因として宗教、政治経済や民族、そして身近なところでは男女といったことに端を発することが多いようです。それゆえ異文化の目には「女人禁制」といった風習のある神社の祭りが、その「ワード」に重なって映るのではないかと心配しています。

先日、外国人旅行者を案内する方から「防府天満宮の御神幸祭はなぜ「裸」で奉仕をするのですか?なぜ男性だけなのですか?」と質問を受けたとメールを頂きました。

御神幸祭は一〇〇四年創始以来防府天満宮最大の重儀で、限られた家柄の者しか参加できませんでした。ところが江戸時代後期になると天神信仰が高まり、一般民衆も御神幸祭に参加したいという波が起きました。これに対し藩は佐波川で潔斎をして身を清めることを条件に参加を許し、人々はその証として潔斎したそのままの姿「裸」で参加するようになりました。裸坊の出現です!しかし女性は裸にはなれません。さらに天神信仰の興隆と共に御神幸祭は荒祭りとなり、女性は参加どころか見物さえ憚るようになりました。ですから「決して女性蔑視に由来するものではありません」と付け加え返信すると「なるほど...」とご理解頂けました。

古来日本では祭事において女性は不淨といわれ禁制がありました。しかし不淨とは汚いとすることではなく、赤不淨は月のもの白不淨は出産をさし、体内から血液が出てしまうことで怪我や気枯れに繋がり、命に関わる事象と捉えていました。全てにおいて生々发展を願う日本の祭りでは、女性は「人々に恵みを与えてくれるが時に災害をもたらし脅威となる大自然と同じように」畏敬の対象でありました。ですから女性を「命の源」と神聖視してきました。その証拠に古事記に登場する最高神である天照大御神様は女性神です。と追いメールすると更に納得いただけました。

今では御神幸祭においても女性の活躍の場として「天神おんな神輿」があります。また最近では祭りの担い手として男女を問わず外国人が自発的に参加し、コミュニティの一員として地域文化に溶け込んでいます。私はその姿を見るにつけて、神社の祭りにこそ「ワード」の解決への近道があるのではないかと感じています。

※本ページの天地に掲載した(重文)松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその■の部分を紹介しています。

※本号をもちまして平成29年100号より17回にわたり掲載してきました本コーナーは終了です。

次号からは「松崎天神縁起絵巻」以外の防府天満宮を代表する宝物をご紹介します。

第六卷 9m20cm

第五卷 13m31cm

第四卷 12m12cm

第三卷 13m80cm

第二卷 14m30cm

第一卷 13m10cm



# 崇敬会だより

## 「第四回東京支部総会・交流会」開催

東京支部総会・交流会が十月十八日にハリウッド美容専門学校(港区六本木)に於いて開催されました。まず、崇敬会東京支部の繁栄祈願祭が斎行されました。記念講演が行われました。今回の講演では、初代内閣総理大臣の伊藤博文を曾祖父にもつ伊藤弥寿彦先生(生物研究家)により「古事記の花鳥風月」と題してご講演をいただきました。

伊藤先生は、わが国最古の歴史書である「古事記」に登

場する動物・植物・鉱物を丹念に調査撮影し、その調査内容を千点以上の写真付きの書籍(写真①)として刊行されました。

講演は「皆さん、古事記の中で一番最初に出てくる動物はなにか存じでしょうか。実は久羅下(くらげ)なのです」という言葉から始まりました。「私の調査の結果、古事記内に出てくる久羅下は、おそらくミズクラゲではないかと思います」と述べられ、水中カメラマンでもある自身が東京湾に潜って実際に採集なさったエピソードを紹介されました。

また「因幡の白兎に登場する兎は、ニホンノウサギという種類だったと考えています」と述べられるなど、現代の私たちにも身近な動物が、神代の昔より存在していることの説明がなされました。先生の軽妙な語り口に、参加者は頷きながら聞き入っていました。

この講演を通して先生は「古事記は単に神話や古いお伽話として捉えられがちであるが、そこに登場する生物などを細かく研究・解明することで、今の私たちの目にもその生物たちが具体的に映り、古事記が『よりリアルに』興味深く楽しめる書物となっていく」ことを紹介くださいました。



▲東京支部総会参加者



▲自然番組ディレクターとしても名高い伊藤弥寿彦先生。NHK『生きもの地球紀行』『ダーウィンが来た!』シリーズ他、『明治神宮 不思議の森』『南極大紀行』『プラネットアース』『伊勢神宮 光ふる悠久の森に命がめぐる』など作品多数。

| 新規会員紹介               |          |
|----------------------|----------|
| 本年五月一日以降入会者(順不同。敬称略) |          |
| 個人会員                 |          |
| 前田 鈴木 平野 哲也          |          |
| 家族会員                 |          |
| 小林 竹内 徳永 裕子 忠亨 尚史    | 中村 直昌    |
| 特別会員                 |          |
| 小田村 下関市大和町           | 防府市緑町    |
| 法人会員                 |          |
| (株)ナカハラプリントツクス       | 神奈川県横須賀市 |
| 防府市岩畠 東京都文京区         | 山口市阿知須   |
| 東京都杉並区               | 山口市高井    |
| 山口市熊野町               | 防府市      |

崇敬会入会をご希望の方は、  
同封の入会案内をご覧の上、  
お申し込み頂きますようご案内申し上げます。



▲本年6月に世界文化社より出版された400頁を超える大著。全3巻から構成される古事記のうち、上巻に登場する動物・植物・鉱物が紹介されています。

講演会後に行われた交流会では伊藤先生との交流もとりつつ、互いの親交を深めました。来年は、東京支部設立五周年にあたります。より一層防府天満宮として山口県を身近に感じ、「心のふるさと」防府天満宮となるようつとめていきたいと思います。その上で、関東近郊にお住いの会員とそのお知り合いの方にも広くご案内申し上げ、ますますの支部繁栄に向けて進んでいきたいと考えています。

# こころのふるさと 防府天満宮

→金谷天満宮秋季大祭調査を通して→

はじめに

金谷神社（通称・金谷天満宮）は『防長寺社由来』に長門国第三宮であつた旨が記されている。現在地へ遷座されるのは享保五年（一七二〇）のこと。

江戸時代には、神職は置かれず、僧侶により神事、運営が司られ、催事など執行許可の願い出が出されている。明治の神仏分離令により社坊は廃寺、



▲秋季大祭当日の金谷神社(金谷天満宮)御社殿

金谷天満宮は萩市大字椿2794に鎮座社伝によると文治二年（1186）に長門守護佐々木高綱が太宰府天満宮より勧請し、現在の御旅所（通称：古天神）に創建されたという。

明治六年（一八七三）に金谷神社へと改称、氏子を持たない崇敬神社として椿八幡宮の氏子地域に鎮座している。

## ①崇敬された天満宮

江戸時代、萩城下町の表玄関にあたる金谷天満宮の宮前には大木戸が設けられ番所が置かれていた。日暮れから夜明けまで治安維持のため城下への出入りを監視する重要な場所であり、金谷天満宮は藩の鎮守としての位置づけがあつたのではないか。

『防長風土注進案』には二代藩主の毛利綱広公より木材が供出され御殿の復旧がされたことや歴代藩主が江戸に参勤する際は代参が派遣されたこと、また防府の塩田などに赴く際には、必ず藩主が直接参拝したことが記されている。また維新の志士たちが萩往還を通る際は防府天満宮と金谷天満宮に参拝していたことも知られている。

更に萩城下町では火災や水害が多くかったこともあり、一般には火難除け、水難除けの神様として

の信仰があり、藩主から一般市民に至るまで天神様への信仰も厚かつたことが伺える。

## ②資料に見える秋季大祭の祭典諸役

金谷天満宮は

創建より八百年

余りの歴史を持ち、天神信仰が

隆盛する江戸時

代は図画等多くの資料が存在す

る。その中に江戸時代末期の萩

城下の寺社や風

俗を木版画で表

▲幕末の萩城下の金谷天満宮の祭礼を描いた『鷺輿巡幸図』



現した『八江萩名所図画』があり、そこに記された金谷天満宮の祭礼は防府天満宮と共通点が多く興味深い。

祭礼日は十月十五日十六日、湯立神事も斎行されている。また「花神子」「�行司」「小行司」に倣つたお役目が過去に存在し

ていたことが記されている。

「馬に跨る大行司、小行司」は、大正年間の防長新聞の記事で散見される。

古萩町では大行列の奉納のことと古くは「小行司の行列」と呼び、東浜崎町の旧町名である漁人町からも「大行司の行列」「小行司の行列」が出され、数十の槍、大・小行司、本丸籠そして備への行列で編成されていた（昭和十三年以降奉納なし）。他にも大正六年の新聞記事には「神輿は神牛に曳かれて大神幣を従え大小行司供奉にて御旅所に至り云々」とあり、かつては御神幸にも大・小行司が加わり、防府天満宮と同様に神事に奉仕をしていたことが記されている。

いづれも大・小行司が行列の中心をなしているが、防府天満宮の大・小行司のように明確な役割があるかは不明である。

翌日には、各地区の奉納行列が執り行われる。途絶えてしまつた時期もあるが、現在でも萩時代まつりの一部として受け継がれている。多くの町内の様々な組織によって繰り出され、昔から大変盛大な祭礼であったと言われている。各地区的奉

納行列らは、前日に代表者が金谷天満宮でお祓いを受け、御札と御久米をいただく。奉納の後、奉仕関係者へ配られる。夕刻には、天神様の御靈を御網代車に乗せ、前日に巡幸した御神輿と共に、秋季大祭が無事斎行されたことを報告するため、お旅所へ御神幸が執り行われる。四十年程前までは牛が曳いていたというが、現在では童神と呼ばれる稚児が御網代から伸びる縄を持ち、前を歩いている。



▲川島地区から繰り出される現在も江戸時代大家のあった川島聖講が天神様に火難除けの願いを込め、山口県内では珍しい聖（ひより）（背負う形態の小さな山車）を奉納している。

#### ④ むすびに考察

金谷天満宮の祭礼は天神様が二度神幸を行う特徴がある。これは過去に天満宮が何らかの理由で他の神様と合祀され、網代車に天神様、御神輿に他の神様を乗せて御神幸を行つたが、時代の変遷の中でまた分離独立し天神様だけが祀られ、その名残が現在の形になつたのではないだろうか。

また太宰府・萩・防府の関係性について、日本海側は九州との交易が盛んであり、九州の文化が伝播する中で山陰側では太宰府天満宮から勧請された例が多い。しかし祭礼の内容については、毛利公が萩に築城し萩往還が整備されたことで、瀬戸内海側の防府天満宮の天神信仰が日本海側へ波及していくものと考えられる。



▲金谷天満宮の御網代車

# 金銅宝塔が物語るもの

寄稿

山本樓觀



## その輝きのなかにあるもの

防府天満宮宝物館の入り口からたどって左手の奥まつた所に「金銅宝塔」は通常、展示されている。展示空間の主役としての役割は「松崎天神絵巻」に渡したかのように見えるが、時間を経ることで培われた渋い金色の輝きを放つて、ただならぬ存在感を醸し出している。修理後補もあるが、全体に鍍金を施して仕上げた多宝塔形の銅製舍利容器で、円筒形の塔身と方形の屋根の上に相輪を立てた総高43・9センチの比較的コンパクトな大きさのものである。それだけに舍利塔としての形状のエッセンスを凝縮した造形となっていて、法具としての機能美を纏った印象深いシルエットが心に留まる。塔身に銘文が陰刻され、そのなかに承安二年（一一七二年）の紀年銘があ

り、その年に天満宮に奉納されたことがわかる。平安時代末期にさしかかる頃にあたるが、この頃から鎌倉時代にかけて舍利信仰が盛んとなり、「金銅宝塔」はこうした信仰の社会的な大きな流行のなかで製作されたものである。全国的に平安時代の残存作例が少ない宝塔の中で実年代がわかる大変貴重なものとして国指定重要文化財となっている。多宝塔の形は真言宗開祖の空海が晩年頃に編み出したと言われ、その創作から日本独自の形として受容され三五〇年を経た形が本作であることを証言してくれている。学術的に宝塔を製作順に並べて形状や技術の変化を追うような比較作業をおこなう際には本作は必ず用いられ、基準作としての役割を果たす。また、天満宮が現在と同地に確實に存在したことを見せる最古の資料でもあり、こうした歴史的価値を内包した際立った輝きを保持する宝物といえるだろう。

# 願主の願いから伝わるもの

塔身後面に施された陰刻銘は次のように打ち出されている。



## 奉鑄

一尺三寸金銅塔一基

右意趣者 山陽防州

院分御時 恃為眼代

奉行國務 仍為祈請

太上法皇 現世百年

後生善所 願主季助

奉行哀憐 子孫繁昌

國土豐饒 諸民与樂

於件多寶 當國守護

天神寶前 所安置也

承安二年壬辰二月廿九日

前筑前守從五位下藤原朝臣季助

## 注釈

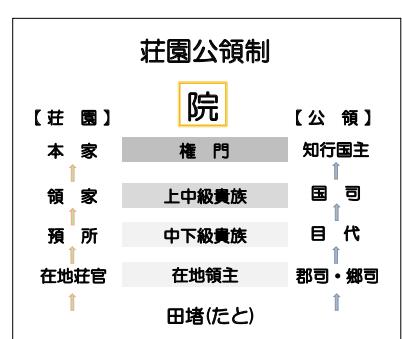
これによれば、この宝塔は承安二年（一一七二）に、当時の周防国国衙に目代として派遣されていた藤原季助が願主となり、後白河法皇の長寿と後生をはじめとして、願主兼ねて奉行衆の子孫繁昌、国土の豊饒、諸民の樂を与へんことを祈請せんがため、當國守護の防府天満宮の御前に安置するというのである。（防府天満宮神社誌宝物編より）

願主は藤原季助で、当時の周防国の眼

代「ノ目代 受領（國守）」の代わりに國務をおこなう代官として京都から赴任した税の収納管理を中心とした行政責任者で、在地における最高実力者として手腕を振るつた人物といえる。院政時期の中流貴族（四・五位）たちの任官のあり方とし、一期のみ受領（國守）を務めて、その後は公領の目代や莊園の預所で經營にあたる人物が多かつた。前筑前守と銘記されていることに着目すると、季助もこうした時代相にのる貴族のひとりで、任地に実際に下向して在地で暮らすことを好んだ經營に長けた実務派の人物であったとみられる。筑前→周防の前後の季助の任官歴は不明だが、京都と筑前（太宰府）と周防を結ぶ縁は道真公をたどるようで面白い。有能な中級貴族は複業をしていたことが知られており、季助もまた、後白河院政を頂点に擁いた天満宮と関わりのある莊園經營を同時に展開していた可能性もあるのではないかと想像したくなる。

いずれにしても藤原季助は、子孫繁昌・国土豊饒の祈願をこめて周防国を守護する天神に金銅宝塔を奉納した旨が銘記されている。奉納した当時は平清盛が太政大臣となつて政権基盤が安定し始めた時勢であつたが、その先の激動の時代の流れを知る現代の私達から見ると季助の生涯がどのようなものであつたか心配な気持ちになる。季助は世の中の変動ぶりを機敏に察知し、蓄財を投資して国府交易の取引きで宝塔を入手し、当國守護の天神宝前に後白河院政下の平穏無事を祈念したのかもしない。国府工房が得意とした鋳造技術を活用した可能性もあり、そうなれば地元関係者の熱意も本作に含み込まれている。天神さまへの奉納品には人々の願いや想いが込められおり、それだけに、その時代の実相が直に伝わってくる。

金銅宝塔もまた、工芸品としての素晴らしさもさることながら、八五〇年前の国府のまちに暮らした人々の息づかいも感じることができ、その魅力的な文化財である。

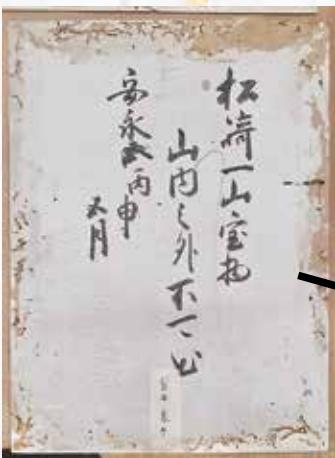


# 御神忌千百一十五年式年大祭記念事業進捗状況

## 社殿塗替え工事完了



▲美しく塗り替えられた楼門



◀今回の修復事業で新たに発見された記述。  
『松崎一山宝物 山門之外不口出 安永五内  
申五月』と記されている。



▲修復され、返ってきた手鑑。  
左から800年、900年、1000年大祭手鑑。



▲金作家岡本佳子氏(防府市在住)に「天満宮の梅」「台湾の国花・梅」「嘉義県の県花・玉蘭花(モクレン)」をあしらった作品を依頼。奉納に御尽力賜りました翁知事と田中社長へ信頼と友情の証として、宮司より贈呈。(令和7年6月27日)

**阿里山檜製賽錢箱返礼**  
嘉義県知事官邸へ阿里山檜製賽錢箱奉納の禮の為、丸久株田中社長と宮司が赴きました。宮司から翁知事と田中社長へ記念品が贈呈され、嘉義県と防府市及び当宮の更なる絆を深めました。

社殿塗替え工事は本年四月より九月末まで約半年の期間で実施。楼門をはじめ御築地壇・回廊・御神庫・太鼓楼・紅梅の塔・手水舎を塗替えました。尚、太鼓楼の腐食部分改修工事並に御神庫向拝柱補強工事については(有)川口塗装店様に御奉納頂きました。有難うございました。

防府天満宮では御神忌八百年式年大祭より百年ごとに平成十四年の千百年式年大祭に至るまで手鑑を奉納して参りました。手鑑は各界を代表する著名な方々の書画作品を集めて帖に仕立てたもので、大切な宝物として受け継いでおります。

八百年、九百年、千年式年大祭の際に奉納された手鑑は経年劣化により、綴じ目や解れなどが進んでおり、(株)岡墨光堂へ依頼

し修復。その中で八百年祭手鑑では表紙の裂地を張り込んだ台紙の裏面に「持ち出してはいけない安永五年(一七七六)」の記述があり新たに発見となりました。しかしながら手鑑は各界を代表する著名な方々の書画作品を集めて帖に仕立てたもので、大切な宝物として受け継いでおります。

八百年、九百年、千年式年大祭の際に奉納された手鑑は経年劣化により、綴じ目や解れなどが進んでおり、(株)岡墨光堂へ依頼



### 特別会員

(令和七年五月一日～令和七年十一月十五日現在)  
正会員以上・敬称略順不回

御奉賛金芳名

御奉賛有難う存じます

|             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 五十万円        | 株アクトライト      | 防府市新田    |
| 西村 千秋       | (有)周防タクシー    | 熊毛郡平生町   |
| 岡本 龍義 岡本 二郎 | 岡本 龍義 岡本 二郎  | 防府市天神    |
| 農食(株)       | 山口市黒川        | 防府市駅南町   |
| かわもと眼科      | 防府市駅南町       |          |
| <b>有効会員</b> |              |          |
| 二十万円        | 株打道園芸        |          |
| 十三万円        | 共進町自治会       |          |
| 二十万円        | 防府ライオンズクラブ   |          |
| 十万円         | ドッグサロン テラ    |          |
| 十一万円        | 防府ネーム        | 防府市上右田   |
| 二千五百円       | きものギャラリー はら京 | 防府市栄町    |
| 五千円         | プロフィット(株)    | 防府市松崎町   |
| 一万円         | 防府市新橋町       | 防府市沖今宿   |
| 五千円         | 防府市江泊        | 防府市佐波    |
| 三千円         | 防府市南松崎町      | 防府市松崎町   |
| 三千円         | 防府市佐波        | 防府市丹原町   |
| 三千円         | 防府市市役所       | 防府市市役所   |
| 三千円         | 防府市中西        | 防府市中西    |
| 三千円         | 防府市美和町       | 防府市美和町   |
| 三千円         | 防府市東仁井町      | 防府市東仁井町  |
| 三千円         | 防府市春日町       | 防府市春日町   |
| 三千円         | 防府市今市町       | 防府市今市町   |
| 三千円         | 防府市追戸町       | 防府市追戸町   |
| 三千円         | 防府市榮町        | 防府市榮町    |
| 三千円         | 防府市東神町       | 防府市東神町   |
| 三千円         | 防府市栗屋        | 防府市栗屋    |
| 三千円         | 大田市大田町       | 大田市大田町   |
| 三千円         | 防府市千日        | 防府市千日    |
| 三千円         | 防府市高倉        | 防府市高倉    |
| 三千円         | 小山 英恵        | 小山 英恵    |
| 三千円         | 正人 幸恵        | 正人 幸恵    |
| 三千円         | 新興設備(株)      | 新興設備(株)  |
| 三千円         | こまめクリニック     | こまめクリニック |
| 三千円         | 上田 地区自治会     | 上田 地区自治会 |
| 三千円         | 旭町地区自治会      | 旭町地区自治会  |
| 三千円         | 直規           | 直規       |

「干支の御柱」を御奉納頂いているチェーンソー彫刻家の林隆雄氏が7月にアメリカで行われたチェーンソーアートの世界大会「USオープン」で見事9年ぶり5度目の優勝!

林さんは「ここ最近は優秀な若手もたくさん参加するようになり、審査の流れが変わる中、もうやめようかなあと思っていたが、優勝できたのは天神様のお陰です(笑)。」とお礼参りに来られました。



▲令和7年の「干支の御柱」



▲優勝作品「SAMURAICAT」と林氏。

本年7月下旬、米国ワシントン州競技会場にて

今年のテーマは「内に秘めた力」。林さんは5種類のチェーンソーを駆使して、小さな猫に秘められた侍魂を表現されました。

当宮には、「防長海軍忠魂碑」「鳴呼海軍少年電信兵之碑」「防飛二期生の碑」「ああ予科練」四基の慰靈碑がある。

ここ防府は戦中、防府海軍通信学校や帝国陸軍航空部隊の配置、また防府陸軍飛行場が開設されるなど縁ある慰靈碑が建立された。

中でも、防長海軍忠魂碑は戦後の混乱と進駐軍の命令により昭和二十年に破碎され埋没隠蔽された。しかし、敗戦復興の中、武光一氏（元海軍少将・初代防府市長・防府天満宮大宮司家）ら有志によ

い  
た  
ぶ  
る

権 神 宜 村 松 大 樹

りこれを掘り起こし繋ぎ合わせて修復再建し遺族会を発足。以来毎年五月下旬に慰靈祭を斎行してきた。奉納少年剣道大会も開催され少年剣士も多数参列。未来を担う子供たちにも革霊に対する感謝と平和への「祈り」を伝えている。

戦後八〇年。残念ながら会員の高齢化によりすべての遺族会は解散したが遺族会に代わり、毎年慰靈祭を御奉仕する神職としてこれからもその「祈り」を大切に守り伝えていきたいと思う。

## ご結婚おめでとう お二人の末永いお幸せをお祈り致します

|        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| 6月8日   | 藤井     | 河村    | 朗大・妃奈乃 |
| 6月20日  | 稻田     | 田村    | 航・潤子   |
| 7月7日   | 吉本     | 栗田    | 貴志・理紗  |
| 7月12日  | 品川     | 鳴尾    | 貴惠     |
| 7月26日  | 長澤     | 航・潤子  | 明・聰美   |
| 7月30日  | 栗田     | 裕貴    | 貴志・理紗  |
| 7月30日  | 品川     | 智行・夏華 | 貴惠     |
| 10月5日  | 昌矢・紗也加 | 那々    | 里奈     |
| 10月11日 | 昌矢・紗也加 | 万里絵   | 里奈     |
| 11月1日  | 昌矢・紗也加 | 裕希・那々 | 里奈     |
| 11月2日  | 長澤     | 裕貴    | 里奈     |
| 11月11日 | 昌矢・紗也加 | 智行・夏華 | 里奈     |
| 11月11日 | 昌矢・紗也加 | 那々    | 里奈     |
| 11月11日 | 昌矢・紗也加 | 万里絵   | 里奈     |
| 12月20日 | 福田     | 河村    | 航・潤子   |
| 12月20日 | 稻田     | 田村    | 航・潤子   |
| 12月20日 | 崇・翔子   | 河村    | 航・潤子   |

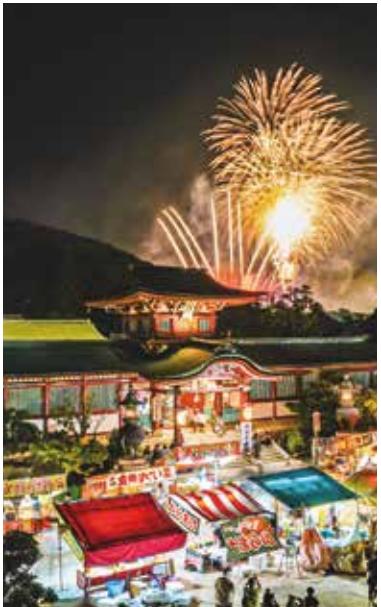


※神前結婚式のお申込みは随時受付けておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。（TEL0835-23-7700）

# 社務所だより

## 御誕辰祭

(天神様の誕生日をお祝いする祭)



▲祭りのフィナーレ「大花火大会」



▲大石段を照らす「万灯のタベ」



▲市内外よりご協賛いただいた「献灯ボンボリ」

日誌抄（令和七年六月～十二月）

毎月1日、15日、25日は月次祭

毎月1日は朔日詣り・朝粥会

毎月25日は天神市・縁日・祖靈跋月次祭神道家まほろばかふえ

どぶろく(濁り酒)奉納  
能樂子方大倉正之助氏来宮  
梅ちぎり敬神婦人会・双葉幼稚園保育園奉仕

責任員会  
中国地区女子神職会正式参拝並びに記念講話官司講師

京都市神社本教15名様正式参拝  
敬神婦人会七夕飾り奉製奉仕

七夕まつり竹まりワーケショッピング於大專坊

青年部若梅会総会・正式参拝  
松崎小学校六年生大專坊授業

総大会・正式参拝  
七夕まつり実行委員会傘玉作成

七夕まつり並筆まつり七夕書道展・同表彰式、ひこぼし☆おりひめ

コンサート(水木謙二ICON)

夏越の大祓式、御田植祭、禍除祈願祭、ほうふ外郎本舗奉納

七夕飾り奉納(多々良幼稚園・松崎幼稚園・瑞祥幼稚園・佐波幼稚園・松崎小学校課後子ども教室)・幸せ旅はうふ・エシカルルパンブー

七夕パンプー(オブジェ奉納展示於春風樓)

七夕茶会・浴衣モデル撮影会・七夕キッズコレクション・シャボン玉パフォーマンス

七夕まつり並筆まつり七夕書道展・同表彰式、ひこぼし☆おりひめ

コンサート(水木謙二ICON)

夏越の大祓式、御田植祭、禍除祈願祭、ほうふ外郎本舗奉納

七夕まつり竹まりワーケショッピング於大專坊

七夕まつり並筆まつり七夕書道展・同表彰式、ひこぼし☆おりひめ

コンサート(水木謙二ICON)

# 天神様の夏から秋

## 七夕まつり

では今年新たに竹まりを  
使った吹き流しが登場。ま  
た、竹に親しんでもらおうとエシカルバンブー(株)様の  
ご協力により講師の田中利雄様をお迎えし直径20cmの  
竹まりワークショップも開催。



▲竹まり吹き流し  
写真提供／ほうふ日報

## 天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがとうございます」との意味があります。

### 清掃他奉仕

ご奉仕ありがとうございました。

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府工場、誠英高校  
マツダ防府工場、防府商工高校  
松崎地区老人クラブ様  
高岡学園サッカーチーム様

### ご奉仕ありがとうございました。

勝間の浦を守る会  
マツダ防府工場様

### ご奉仕ありがとうございました。

松崎佐波地区子供会約400名様  
マツダ防府工場、防府商工高校  
松崎地区老人クラブ様

### ご奉仕ありがとうございました。

JA山口県宇部統括本部様  
林隆雄様

### ご奉仕ありがとうございました。

どぶろく(濁り酒)  
どぶろくカフエみづは様

### ご奉仕ありがとうございました。

新米60キロ  
(有)ほうふ外郎本舗様

### ご奉仕ありがとうございました。

木彫り猫像  
林隆雄様

### ご奉仕ありがとうございました。

山口茶(うかるつ茶)  
JA山口県宇部統括本部様

### ご奉仕ありがとうございました。

台湾米「八田香り米」70キロ  
(株)丸久様

### ご奉仕ありがとうございました。

ミネラル笑顔米15キロ  
(有)スナハラ様

### ご奉仕ありがとうございました。

大瀬上ヶ神事  
お鐵上ヶ神事  
鈴虫放生祭  
防府菊花会総会

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール紅わらべ出演、茶室  
高校生職業体験  
高校生奉仕実習委員会  
お頼み会  
お手廻り保存会会員誓式

### ご奉仕ありがとうございました。

式典保存委員会  
大阪府神社庁第八支部9名様正式参拝  
式典保存委員会  
行審区役員臨時会議

### ご奉仕ありがとうございました。

マツダ防府市子ども文化祭於サルビアホール

花神子社參式

(御神幸祭の無事成功  
を祈る祭)

大行司役  
藤井厚氏



小行司役  
清水政行氏



花神子役  
脇 花さん



当宮の御手廻り保存会（奴）は、三年前から女性・外国人も参加してくれるようになりました。現在は、老若男女・国籍・宗教問わず、そして言葉の壁を乗り越えて祭りを楽しんでいます。

(二四) 四方雷。帝子以游。勿用。利。三。



▲平成24年より航空自衛隊南基地隊員が奉仕。3年前より女性隊員も加わった。

# 新任の 供奉員会 大小行司

**一本松神社例祭**  
月第三土曜日(斎行。昨年、御旅所「勝間の浦(浜殿)」が式年大祭記念事業で改修され、道真公の荒魂をお祀りする「一本松神社」が再建されました。御神幸祭の幟立てを行い、この度結成された「勝間の浦を守る会」の皆様も参列頂きました。



▲勝間の浦を守る会は、御神幸祭の諸準備をはじめ御旅所の清掃奉仕活動を地元住民で行い、「菅公御着船の地」を大切に継承しようと登足。

ここに新たに 年の始は天神様へ

# 初詣のご案内

●予祝詣  
令和七年十二月二十五日～三十一日  
お正月の破魔矢・縁起物等の頒布致しております。

防府天満宮は12月25日からお正月

●交通規制について●  
元日から3日まで当宮周辺は交通規制があります。  
詳細は同封の「防府天満宮初詣おもてなしMAP」、  
もしくは下記QRコードを携帯電話スマートフォン  
のカメラで読み取つてご確認下さい。



## 令和8年 新春の祭事行事

- ・節分祭牛替神事 二月一日～二月十五日
- ・梅まつり 二月十五日～三月一日
- ・人形感謝祭 三月一日

※節分祭牛替神事・梅まつりは同封のチラシをご覧下さい。

人形預かり期間 二月十一日～二月十八日  
人形里親探し 三月一日～五日

旧年の感謝を捧げるとともに、  
新年の幸せを願い  
天神様へご参拝頂きますよう  
ご案内申し上げます。

- ・歳旦祭 一月一日 午前三時より
- ・書初め・梅茶接待(無料) 於參集殿  
一月一日十三時～十六時  
二日～三日両日共九時～十六時
- ・天神おんな神輿写真コンテスト於參集殿  
一月一日～八日 九時～十六時
- ・斬始式 一月五日午後三時より
- ・七草粥の会 於參集殿  
一月七日 午前六時三十分より
- ・貞宮遙拝式 一月十一日 午前十時より
- ・弓始式 一月十二日 午後一時より

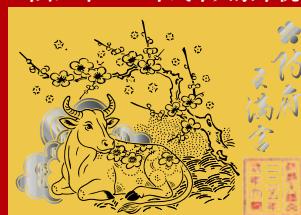
●予祝詣  
よしゆく もうで

令和七年十二月二十五日～三十一日

お正月の破魔矢・縁起物等の頒布致しております。

特別ご朱印のご案内  
(切り絵朱印)

一月一日より頒布  
一一二枚限定  
令和9年1125年式年大祭奉祝



初穂料 2,000円

※初穂料は式年大祭奉賛金として納めさせていただきます

A-さんミニライブ&  
ドローニンショーアー<sup>in</sup> 防府天満宮  
KitKat

※詳細は1月1日以降ホームページをご覧下さい。

1月4日開催!!

御神忌千百二十五年  
式年大祭記念  
【伝統工芸・現代美術工芸  
奉納作品】作品展  
令和七年十二月二十五日～  
令和八年一月十五日  
九時～十六時 於 歴史館



防府天満宮

検索

YouTube

さかたり第116号  
令和7年12月1日発行  
発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029  
山口県防府市松崎町14-1  
TEL 0835-23-7700  
FAX 0835-25-0001

facebook

X

(旧Twitter)

Instagram